

会議名	港区介護予防個別支援システム開発設定等委託 第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年12月23日（月曜日）午前10時から午前11時まで
開催場所	港区役所保健福祉支援部会議室
委員	保健福祉支援部長 新宮 弘章（委員長） 高齢者支援課長 白石 直也（副委員長） 赤坂地区総合支所管理課長 山越 恒慶（委員） みなと保健所健康推進課長 土井 重典（委員） 欠席 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 中林 淳一（委員）
事務局	高齢者支援課介護予防推進係
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 第1回港区介護予防個別支援システム開発設定等委託事業候補者選考委員会議事録（案）</p> <p>3 第一次審査選考結果（案）について</p> <p>4 第二次審査スケジュール等（案）について</p> <p>5 第二次審査採点表について</p> <p>6 閉会</p>
配付資料	<p>[席上配付]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1 第1回選考委員会議事録（案）</li> <li>・資料2 第一次審査評価(集計)表</li> <li>・資料3 第二次審査スケジュール等（案）</li> <li>・資料4 第二次審査の実施に関する留意事項（案）</li> <li>・資料5 第二次審査採点基準表</li> <li>・参考資料1 港区介護予防個別支援システム開発設定等委託事業候補者募集要項</li> <li>・参考資料2 港区介護予防個別支援システム開発設定等委託事業候補者選考基準</li> <li>・参考資料3 港区介護予防個別支援システム開発設定等委託事業候補者事業候補者選考スケジュール及び審査方法</li> </ul>
会議の内容	

	<p><b>【1 開会】</b>            (委員長より開会の挨拶)            中林委員は欠席だが、本会議は有効としたい。            (委員一同、了承)</p>
委員長	では、次第に添って進行する。第一次審査の事務局採点について説明を。
事務局	<p><b>【2 第1回港区介護予防個別支援システム開発設定等委託事業候補者選考委員会議事録（案）、3 第一次審査選考結果（案）について】</b>            (事務局の採点内容を説明)</p>
委員長	事務局採点について、意見や質問があるか。
A委員	加点を満たしている根拠資料はあるのか。
事務局	ISO、障害者雇用状況報告書ともに事務局に関連の書類が提出されている。
委員長	他に質問が無ければ、各委員から講評いただきたい。
B委員	<p>目的の理解度は不透明であるものの、企画提案及び計画の妥当性については、プロジェクト管理ツールの活用等、一定の評価ができる。さらに、各画面イメージは、シンプルで分かりやすい。加えて、進捗管理の見える化等を図ることで、システム開発中のトラブル発生時の柔軟な対応に期待できる。</p> <p>導入後のシステム利用職員向け説明会の実施計画の記述はないものの、毎月の定例会の実施や、ハードウェアベンダーやOS・DB開発ベンダーを含んだサポート体制があり、一定の評価はできる。また、保守費用は5年間の総額から計算すると、廉価な価格に抑えていると評価できる。</p> <p>セキュリティ対策については、ISMS認証の取得や、ユーザーによる操作ログの取得等により、一定のセキュリティ対策は担保されている。一定の管理機能や効果的な可視化ツールも有している。</p>
C委員	<p>企画提案書・システムについて全体的に好印象だった。</p> <p>帳票類は種類が豊富で優れたシステムであると感じた。一方で、業務従事予定者の配置計画の具体性に欠けていたため、第二次審査で確認したい。また、データ集約分析は比較的分かりやすく、予約の空き状況が一目で確認できる点も評価したい。</p>
D委員	システムについては、全体的に良の印象。特に、教室の参加前後で状態変

	化をグラフで図示できる点は、区民にとっても良い機能だと評価できる。これだけ多くのデータをストックしているのであれば、データ分析にも期待したい。ただし、情報を細かく管理しているため、入力する職員の負担は大きいのではないかと感じた。また、システムでは、担当者が複数のプロジェクトを掛け持つ傾向があるため、第二次審査でも引き続き慎重に審査したい。
A委員	<p>業務の効率化につながる点や効果の可視化につながる点など、優れたシステムだと評価できる。</p> <p>また、システムを構築したメンバーが、引き続きシステムの運用に携わり、毎月の定例会で共有していく点など、システム稼働後のフォローワーク体制にも安心感が持てる。</p> <p>なお、提案書だけでは把握できない具体的な内容については、第二次審査で確認したい。</p>
委員長	それでは各委員の講評を踏まえて、再評価、意見等あるか。
D委員	セキュリティ対策については、最低限のセキュリティ対策を講じている、という点で評価していたが、最高の状態とは言い切れない点も含め、再評価する。
委員長	<p>承知した。それでは、その他に再評価等あるか。</p> <p>(委員一同、なし)</p>
委員長	<p>それでは、これをもって採点結果を決定とする。</p> <p>選考基準では第一次審査及び第二次審査のそれぞれの満点の6割を基準点とすることを定めており、第一次審査結果はこの基準を満たしているため、A事業者を第一次審査通過事業者したいが、異論はないか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	それではA事業者を第二次審査へ進めるものとする。次に、第二次審査について審議する。
事務局	<p>【4 第二次審査スケジュール等（案）について、5 第二次審査採点表について】</p> <p>(事務局より資料3資料4資料5、参考資料について説明)</p>
委員長	<p>資料3～5、をあわせてご意見をお願いしたい。</p> <p>まず、第二次審査の最大出席者数は5人で問題ないか。</p>

	(委員一同、異議なし)
C委員	質疑応答は全体で20分と設定しているため、各委員4分程度という認識で良いか。
事務局	問題ない。委員からの質問と事業者からの回答を全て含めて、一人4分程度でお願いしたい。
C委員	承知した。
委員長	その他、第二次審査についてご意見はないか。 (委員一同、特になし)
	【6 閉会】 (事務連絡、委員長より閉会の挨拶)